

2018年の日本経済を考える

第一生命経済研究所首席エコノミスト
熊野 英生

- *今年のスローガンは「油断めざるな」
- *黒田総裁の隠れた使命は低金利の持続
- *不安が残る財政再建をどう考えるか
- *景気のいい今こそ構造問題に着手すべき
- *供給能力の天井をどう打開するか
- *トランプ大統領というリスク
- *日本経済の問題点は消費の低迷
- *なぜ賃上げが難しいのか
- *生産性上昇に経営学者ドラッカーの知恵
- *イノベーションに日本的経営を活かせ



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は3年ほど空きましたが、第一生命経済研究所の熊野さんに来ていただきました。

今年に入ってから経済そのもののお話についてはちょっと間が空きましたので、今日は直近の経済のお話、それからこれからどうなっていくかについてじっくりお話をいただけたと思います。アメリカが変調を来しておりますし、日本も完全雇用下ではありますが、先行きの見通しがいまいちというわけではございませんので、どういふところを見て、どういふふうにかえたらいいか、今日は皆さんの示唆に値するようなお話をさせていただきたいと思います。

それでは熊野さん、よろしくお願いたしました。

今年のスローガンは「油断めざるな」

熊野 皆さんこんにちは。ご紹介いただきました熊野でございます。5、6年前は毎年やっていたんですが、しばらくお呼びがかからなくてご無沙汰していたのですけれども、同じメンバーの方々が大勢いらつしゃるといふふう聞いたので、最近のリニューアルした話をしたいと思います。

まずは今年「戌笑う」と。株式市場は右肩上がりだみたいなことを年初から言っていたんですが、大間違いでしたね（笑）。健康の秘訣は自分を褒めることらしいんですが、まず最初は自分を褒めると、今回株がちよっと暴落しましたが、あれは起こると思っていましたよと